

平成22年度
「高校生ステップアップ・プログラム」
及び「高1クライシス未然防止事業」
調査研究報告書

平成23年3月
北海道教育庁学校教育局参事（生徒指導・学校安全）

発刊にあたって

今日、情報化の進展など社会の急速な変化の中で、青少年の人間関係の希薄さや他人に共感して思いやる心の弱さなどが指摘されており、それがいじめや暴力行為などの問題行動や不登校などの一つの要因と指摘されており、学校において、人間関係を形成する力や自己表現力、他者への思いやり、正義感、連帯感や協力心などをはぐくむ教育活動を積極的に進めていくことが求められています。

こうしたことから、北海道教育委員会では、高校生のコミュニケーション能力を高め、望ましい人間関係づくりを進めるなど、生徒の問題行動等の未然防止を目指した「高校生ステップアップ・プログラム事業」を平成21年度から実施しています。さらに、今年度からは、「高校生ステップアップ・プログラム事業」に加えて、不登校や中途退学者の約半数を1年生が占めているという、いわゆる「高1クライシス」の未然防止を目指した「高1クライシス未然防止事業」を実施しているところであります。

本冊子は、生徒の自己表現力やコミュニケーション能力を高める体験的な活動の充実を図った取組、生徒の学級満足度調査を評価・分析し、教育活動の改善を進めた取組、専門家の助言を受けながら発達の段階に応じたメンタルヘルス教育の充実を図った取組など各調査研究指定校がこの1年間に取り組んできた様々に工夫された実践等を取りまとめました。

今後、本冊子を活用しながら、全道の高等学校において、コミュニケーション能力を高め、望ましい人間関係が構築される取組が広がり、いじめ、不登校、中途退学などの問題行動等の未然防止が図られ、すべての生徒の学校生活がさらに豊かになることをご期待申し上げます。

平成23年3月

北海道教育委員会学校教育局参事（生徒指導・学校安全）

石 堂 普 之

